

これからの時期に増える

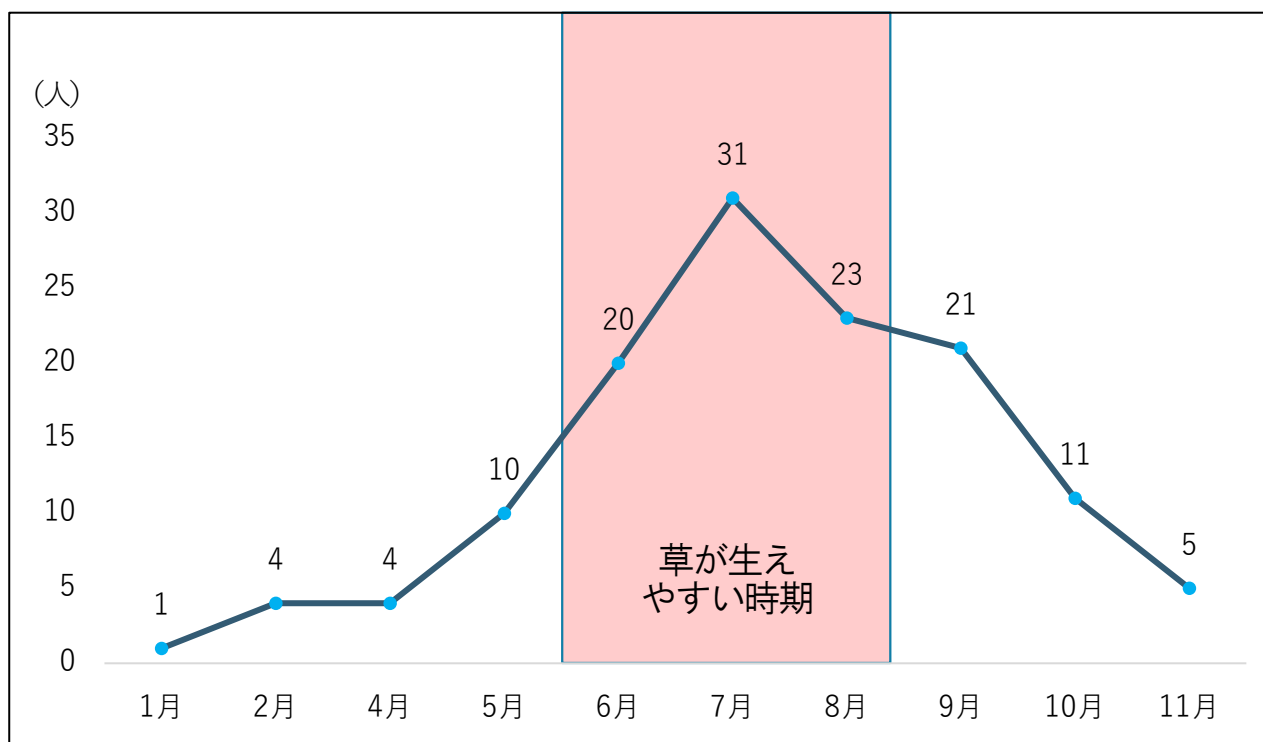
草刈り作業中の事故による救急統計について

郡山地方広域消防組合管内では過去 10 年間（2015 年から 2024 年まで）で草刈り作業中の事故により 130 人が救急搬送されています。全体の約 56.9%が 6 月から 8 月にかけて発生しています。これからの時期、一般家庭でも草刈り作業の機会が増えてくるため、注意喚起を図ることを目的に、救急統計をまとめましたのでお知らせします。

※小数点を含むものは、小数点第 2 位を四捨五入した数値で表記。

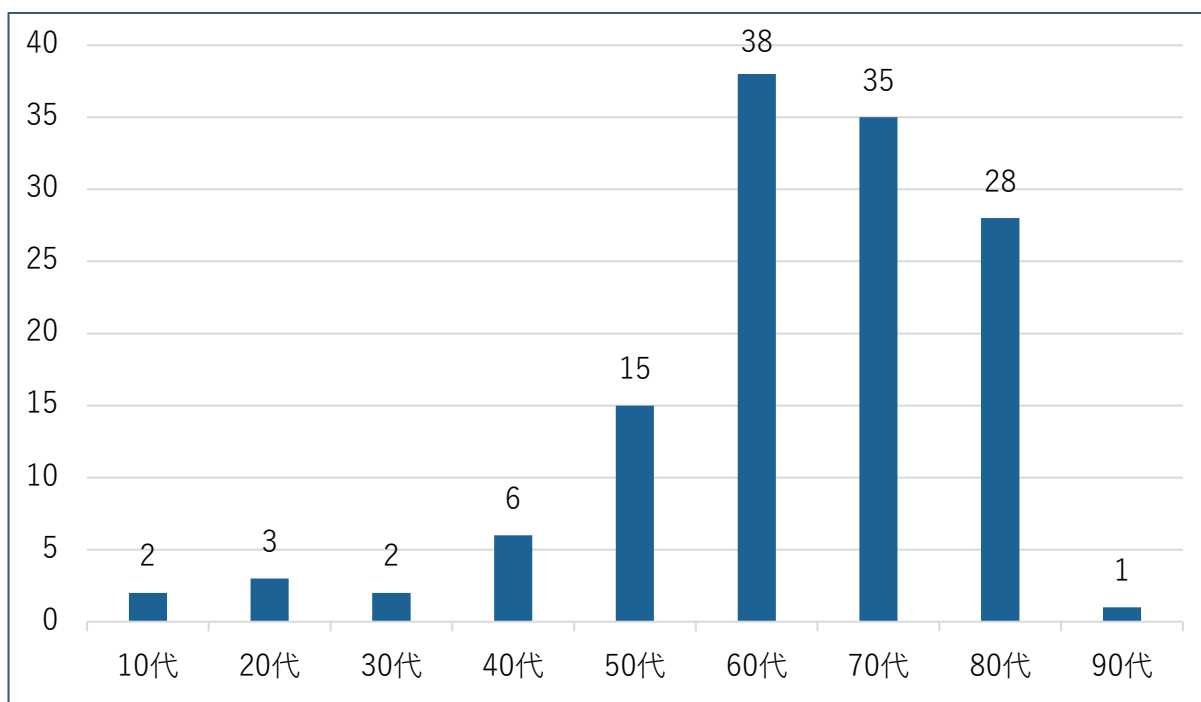
■ 月別の救急搬送人員

月別の救急搬送人員でみると草刈り時期の 7 月が最も多く 31 人（23.9%）でした。6 月から 8 月は草が成長する時期であり、草刈り作業中の事故も増えてきます。



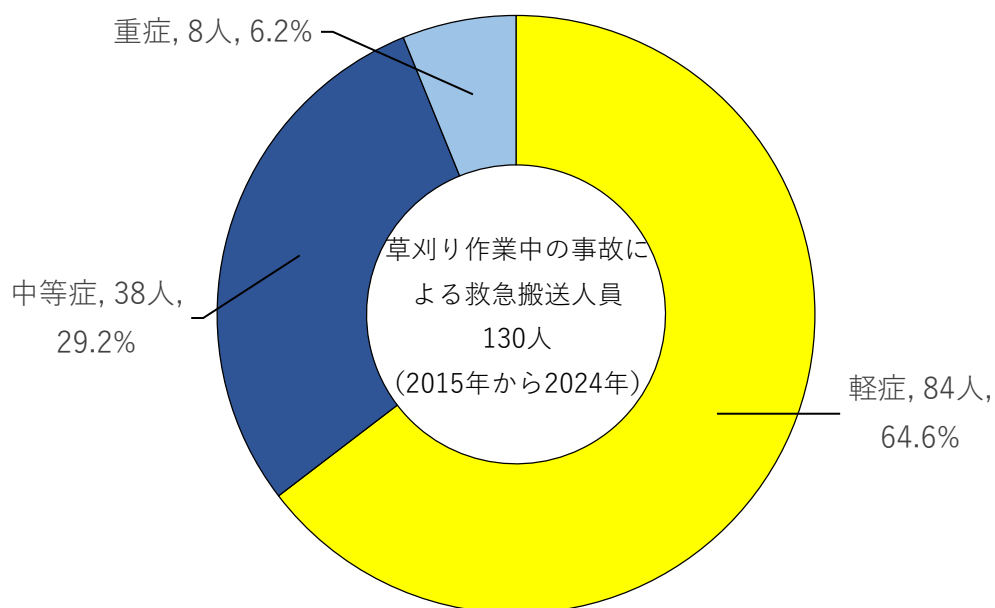
■ 年代別の救急搬送人員

年代別の救急搬送人員を見ると 60 代が最も多く 38 人 (29.2%)、次いで 70 代が 35 人 (26.9%)、80 代が 28 人 (21.5%) と続きます。60 代以上で 102 人 (78.5%) と全体の約 8 割を占めています。



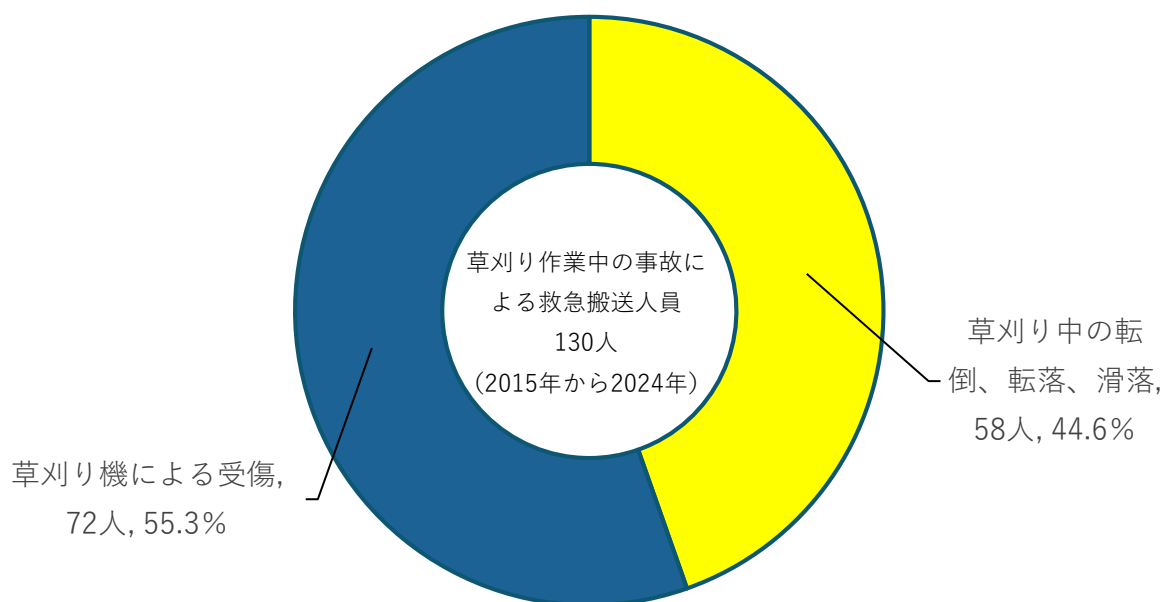
■ 傷病程度別の搬送人員

傷病程度別の搬送人員を見ると、軽症が最も多く 84 人 (64.6%)、中等症が 38 人 (29.2%)、重症が 8 人 (6.2%) でした。



■ 草刈り作業が要因となった事故の割合

草刈り作業中の受傷機転を見ると、草刈り機による受傷が72人（55.3％）に対して、転倒による受傷が58人（44.6％）となっています。



【事例について】

- ・ 息子が草刈り機で草刈り作業中、しゃがんでいた母親に気づかず、誤って母親の足を切って救急要請した。（重症）。
- ・ 自宅庭の草刈り中に尻もちをついた際に土手を滑り落ち、その際に右足を受傷。2時間後、付近住民に発見され救急要請された。（重症）
- ・ 自宅付近の田んぼで草刈り作業中、誤って転倒し左上腕が草刈り機に巻き込まれ受傷。自宅へ帰宅後救急要請した。（中等症）

【事故防止対策について】

- ・ 草刈り機の刃の交換作業やメンテナンスを行う際は、エンジンを停止させ正しい手順で行いましょう。
- ・ 安全対策としてゴーグル、手袋、長袖・長ズボン、安全靴、ヘルメットを着用しましょう。
- ・ 斜面などの草刈りは無理な姿勢を避け、足場の確認をしながら行いましょう。
- ・ 足元が滑りやすい斜面はロープを活用し安全確保を実施し、滑落防止を図りましょう。
- ・ 草刈り機を扱う際は、周囲に人がいないことを確認しましょう。
- ・ 一人で作業を行う際は、連絡手段を確認しましょう。スマートフォンの緊急通報サービスを設定するとさらに安心です。